

シューマン 全ピアノ作品の研究 (その5)

# シューマン&ブラームス (2台ピアノ)

## Schumann and Brahms 2 pianos

ピアノ連弾による 名曲・弦楽四重奏曲 第1番 ハ短調 Op. 51-1

- 
- プレトーク / シューマンとブラームスについて 西原 稔 (15)
- シューマン / 序奏と協奏的アレグロ Op. 134 2台ピアノ版 (15)
- シューマン / アンダンテと変奏曲 Op. 46 2台ピアノ版 (20)
- P. 石橋 愛 (桐朋学園大学3年)
- P. 内田 野乃夏 (桐朋学園大学3年)
- 休憩 —————
- ブラームス / 弦楽四重奏曲 第1番 ハ短調 Op. 51-1 ピアノ連弾版 (35)
- P. 神谷 悠生 (桐朋学園大学大学院2年 2013 音コン入選 JBS147 例会出演)
- P. 五十嵐 薫子 (桐朋学園大学大学院2年 2015 音コン3位)

終演インタビュー & プレトークと監修 西原稔 (JBS顧問 桐朋学園大学教授) 2:00~4:30 予定



P. 石橋 愛



P. 内田 野乃夏



P. 神谷 悠生



P. 五十嵐 薫子



解説 西原 稔

# 2019年1月27日(日)2pm

チケット 一般¥4500 会員¥4000 学生¥2000

会場 ピアノサロン 60席 (駒場)

60席のため会員および演奏者関係へ優先販売いたします。2019/1/18~残席が有る場合は本ホームページにて一般販売をご案内予定です。なお地図はチケットに同封いたします。

- 後援 ハンブルク国際ブラームス協会、米国ブラームス協会
- お問合せ 日本ブラームス協会 Tel/Fax 050-3648-0002 留守電  
[jbs1973@jcom.home.ne.jp](mailto:jbs1973@jcom.home.ne.jp)
- HP <http://japan-brahms-society.org>

**●ピアノ 石橋 愛(いしばし あい)**

桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学三年在学中。第68回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部入選。第2回カワイ国際音楽コンクールソロの部Sコース奨励賞。また2018年6月に公開の映画「羊と鋼の森」にて、吹替演奏を担当。現在、ピアノを中井恒仁、武田美和子各氏に師事、二台ピアノを加藤真一郎、石岡久乃、中井恒仁、武田美和子各氏に師事。

**●ピアノ 内田 野乃夏(うちだ ののか)**

福岡県大野城市出身。第66,68回全日本学生音楽コンクール中学校の部、高校の部北九州大会第1位。第39回ピティナピアノコンペティションG級全国大会入選。第23回フツペル鳥栖ピアノコンクール第3位。2015年、台湾にて国際交流演奏会に出演。2017年、モーツァルトウム音楽院夏季セミナーにてDina Yoffe氏に師事。桐朋学園成績上位者による高校卒業演奏会、室内楽演奏会等に出演。映画「羊と鋼の森」にて演奏吹き替え、手元映像を担当する。また、ラジオドラマ「ふたご」にてテンペストを演奏する。これまでに畑瀬由美子、中井恒仁、武田美和子の各氏に師事。二台ピアノを石岡久乃、加藤真一郎、中井恒仁、武田美和子の各氏に師事。桐朋学園大学三年在学中

**●ピアノ 神谷 悠生(かみや ゆうき)**

1994年生まれ。神奈川県出身。6歳よりピアノを始める。現在桐朋学園大学大学院音楽研究科 修士課程2年に在籍、中井恒仁氏に師事。これまでに室内楽を藤井一興、若林顕、中井恒仁、練木繁夫、鈴木康浩、北本秀樹、原田幸一郎、藤原浜雄、徳永二男の各氏に、音楽理論を内藤晃氏に、指揮を梅田俊明氏に、ピアノを大嶋郁子、徳丸聡子、水谷稚佳子の各氏に師事。第64回全日本学生音楽コンクール高校生の部東京大会2位、全国大会横浜市民賞(聴衆賞)。第12回シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA 高校生の部 アジア大会銀賞。第4回桐朋ピアノコンペティション第2位。第82回日本音楽コンクール本選入選。第2回桐朋ピアノコンチェルトコンペティション第2位。第5回せんがわピアノオーディション最優秀賞。ソリストとして東京交響楽団、モーツァルトシンフォニーオーケストラ、桐朋学園大学オーケストラ等と共演。JTが育てるアンサンブルシリーズ、カワイ表参道を始めとした各地でのリサイタル、四月は君の嘘クラシックコンサート全国ツアーにソリストとして帯同、フィギュアスケート tv クラシックコンサート出演等全国各地での演奏会に出演。またBS フジ「世界の音楽ハロー!クラシック」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」への出演等メディアへの出演も行っている。これまでに様々なアカデミー及びマスタークラスを受講。プロニスヴァ・カヴァラ、トーマス・ベッケラー、ロマン・デシャルム、オルタンス・カルティエ=ブレッソン、ミシェル・ペロフ、オリヴィエ・ギャルドン、フィリップ・ジュジャーノ、アブデル・ラーマン・エル=バシヤ、パスカル・ドヴァイヨン、ジャック・ルヴィエ氏等から指導を受ける。

**●ピアノ 五十嵐 薫子(いがらし かおるこ)**

六歳より桐朋学園子供のための音楽教室にてピアノを習う。日本音楽コンクール第3位・最も印象的な演奏に贈られる三宅賞、ピティナピアノコンペティション特級銅賞他数々のコンクールで優勝・入賞。2017年桐朋学園大学を首席で卒業し、皇居・桃華楽堂での御前演奏会に出演。日本各地で演奏活動を行うほか、ソリストとしてこれまでに、東京都交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、桐朋学園大学オーケストラ等と共演。室内楽も積極的に行なっており、徳永二男氏や長谷川陽子氏等と共演している。これまでに今泉紀子、山田富士子、村上弦一郎、横山幸雄、岡本美智子の各氏に師事。2010年桐朋学園女子高等学校音楽科奨学生、2014年桐朋学園特別奨学生、2014~2015年明治クオリティオブライフ奨学生、2016年メンデルスゾーンアカデミー(ドイツ・ライブツィヒ)スカラシップ奨学生、2018年よりロームミュージックファンデーション奨学生。2017年より桐朋学園仙川キャンパス特待生として、桐朋学園大学大学院修士課程二年に在学中。

**●企画・ブレストーク 西原 稔(にしはら みのる) JBS顧問**

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学教授。19世紀音楽と音楽社会史を専門とする。著書は「音楽の社会史」(音楽之友社)、「聖なるイメージの音楽」(音楽之友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「<楽聖>ベートーヴェンの誕生」(平凡社)、「音楽史ほんとうの話」(音楽之友社)、「ブラームス」(音楽の友社)。その他翻訳、監修など。ブラームス研究と並んで、シューマンのピアノ作品の成立史の研究成果が「シューマン 全ピアノ作品の研究」上下として2013年音楽之友社より出版され、2014年第26回ミュージック・ペンクラブ音楽賞をクラシックの研究・評論部門で受賞する。日本ブラームス協会(JBS)では顧問として企画運営のアドバイスをするとともに「レクチャー&コンサート」を担当して、その成果を年会誌『赤いはりねずみ』に発表している。